

平成27年 月 日

## 第4次宮代町総合計画後期実行計画についての意見書（案）

私たちは、第4次宮代町総合計画前期実行計画の検証及び後期実行計画の策定について審議を行うため、平成27年5月28日に町長より委嘱を受け、約半年間にわたって議論を行ってきました。

前期実行計画の進捗状況については、概ね良好であるものの、限られた職員数で行うには、事業量が過大であり、結果として関連部署間や住民との連携が図れず、十分な効果が得られていない事業も見受けられました。

後期実行計画の実施にあたっては、事業の選択と集中を進め、真に必要な事業を組織全体で連携を図りながら進めるとともに、専門的知識を有する職員の育成や市民、民間団体、企業の活用等を組み合わせ、町長のリーダーシップのもと、事業の質をより高め、より効果的に進めていただくようお願いします。

また、少子高齢化、人口減少社会の中で、道仏土地区画整理事業を始め、定住促進策が功を奏し、ここ数年若い世代の転入が増えていることは、非常に明るい傾向です。今後も、町の魅力を積極的にPRするとともに、東武動物公園駅東西口の区画整理事業をはじめ、子育て支援策、起業支援策、雇用対策等を実施し、さらに若い世代の転入増、出生数の増、そして歳入確保に努め、町の賑わいづくりを推進していただくよう期待します。

最後に、宮代町のまちづくりの理念でもある「農のあるまちづくり」は、全国に誇る町の取り組みです。豊かな農の資源を、住民皆で守り、生かすことで、農がもたらす恩恵を町全体で享受することができます。拠点施設である「新しい村」を中心に、農業はもとより、教育や福祉、住環境、観光、商業、製造業など様々な分野で、町の強みをより一層活かしていただき、「農のあるまちづくり」の全面展開につなげていただきたいと考えています。

宮代町の良さは、小さな町だからこそ、人と人との温かみのあるつながりが実感できるところだと思います。これからも町民と行政が一丸となって、人に優しいまちづくりに取り組むことを期待し、宮代町総合計画審議会の意見として提出させていただきます。

宮代町総合計画審議会  
会長 佐々木 誠